

令和6年度 第1回 氷上回廊水分れフィールドミュージアム運営委員会 会議記録

日 時：令和6年7月12日（金）16：00～18：00

場 所：水分れフィールドミュージアム2階 多目的室

出席者：三橋委員長、松井副委員長、高木委員、大木委員、梅垣委員、田村委員、山田委員、
松原委員、永井委員

小畠社会教育・文化財課長、足立副課長、海老原教育普及専門員、大嶋館長

進 行：三橋委員長

1. 開 会 館長

2. あいさつ 社会教育・文化財課長

3. 委嘱書交付

4. 自己紹介

5. 委員長、副委員長の選出 事務局から提案し、承認を得た。

委員長：三橋弘宗 氏

副委員長：松井久信 氏

6. 報告事項 以降の進行は三橋委員長

(1) 令和5年度及び令和6年度6月までの事業報告【資料1－1】【資料1－2】

(委員) 企画展やワークショップの企画については、計画から展示まで教育普及専門員が一人でされますか。

(事務局) 関連施設に協力を仰ぎ、助言をいただきながら作っていく形になります。依頼できるところは依頼しながら、極力負担を分散させています。

(委員) 丹波市におけるふるさと学習や出前授業、副読本の利用等で市内の学校が水分れフィールドミュージアムと連携することが盛り込まれていますか。

(事務局) 教育委員会内で、市内の小学生が水分れフィールドミュージアムを訪れる仕組み作りが必要ではないかという意見がありますが、学校との調整の中で、まだ仕組みができていない状況です。副読本は、水分れフィールドミュージアムのリニューアル時に作成し、小学生全学年に配布しています。その後は新1年生に配布しています。今後は電子化する等し、タブレット端末での利用に向けて研究しています。

(委員) 地元の標本を収集することは進んでいますか。

(委員長) 水分れフィールドミュージアムには収蔵庫がないので、収集できれば常設展に加えることになるでしょう。

(事務局) 大々的に収集を行うと、スペースに限りがあるので厳しい部分があります。地元から当施設が受け入れ先の候補としてもらえるような関係作りが重要だと考えます。

(副委員長) 昆虫標本は、青垣いきものふれあいの里と協力して展示し、水分れフィールドミュージアムでは、分水界に付随した標本を集めることはどうでしょうか。

(事務局) 青垣いきものふれあいの里とは連携を取りながら、それぞれの施設の特徴を生かした運営を行いたいと考えます。

(副委員長) 施設の湿度対策はどのような様子ですか。

(事務局) 除湿器を設置して対策を講じています。

(委員) 常設展と無料エリアの分けについて、来館者の導線の工夫はされていますか。

(事務局) 以前は常設展入り口の扉を開放していたため、チケットを購入していない方が常設展の方へ進まれることもありました。今は常設展入り口の扉を閉めており、入館料をお支払いいただいた方に常設展を見学してもらっています。扉付近に氷上回廊を展示していることを表示して、係員が口頭で案内するよう工夫しています。

(委員長) 湿度対策のこともあるので、扉は閉めている方がいいと思います。今の扉の一部にアクリル板を設置して、外からでも常設展の様子が分かるようにすることも一つの方法だと思います。サインを工夫することも考えられます。費用のこともあるので、事務局に引き続き検討してもらいたいと思います。

7. 協議事項

(1) 令和6年度の取り組み(予定)【資料2】

(2) 令和6年度の企画展及びワークショップ等【資料3】

(3) 運営に関する意見交換

(委員) 先ほどの報告事項でもありましたが、標本の充実・整理について、水分れフィールドミュージアムのリニューアル時に集めた標本は、随時入れ替えるといいと思います。

(事務局) ワークショップ等で収集した生き物を標本にしてその都度展示することを検討中です。一度にはできないので、一旦保管しておいて、別の機会に展示できればと考えます。

(委員) できる範囲で対応してください。

(委員) 冬季特別展では檜皮茸を取り扱う予定になっています。実際に檜皮を触って、貼ってみることも面白いのではないのでしょうか。

(事務局) 小学生が体験できるワークショップを冬季特別展の会期中に2回実施できないか、検討中です。

(委員) 柏原高校では1学年5クラスあり、全クラスに出前授業をしてもらうのは難しいと思うので、標本等をお借りできればと考えます。どのような標本があるのかデータ化されていると助かります。柏原高校もたくさんの標本がありますが、なかなか整理できていません。令和6年度に、理科部の生徒を連れてきて、中学生に説明することも可能かも知れません。

(委員) 学習教材として作成したボードゲームはどのような状況ですか。

(事務局) 丹波市中学校社会科研究部会と中学校長会での説明を終えたところです。今後、中学校の先生に実際にプレイしていただく機会を設け、授業の中で使っていただくよう、普及に努めていくところです。中学2年生を対象に難易度等を設定しており、各学校2年生のクラスの班の数量と予備を配布するのと、大人向けには、市内住民センターや市民プラザで貸し出すこととしています。

(委員) 水分れフィールドミュージアムでは、きめ細かくいろいろなことに取り組んでいるところが素晴らしいと思います。丹波市の自然に関することは、この施設がメインになって発信できればいいのですが、限界もあると思います。阪神間から来た方に「水分れはどこですか」と尋ねられることがあるので、もっとウェブで情報発信し、分からないことがあれば来館していただけるようになれば、また違ってくると思います。但馬のジオパークのように、丹波市も見どころはあると思います。

また、私はこども園にも勤務していました。5歳くらいになると、自然のことについて理解できるようになります。市島地域のこども園は、福知山市の施設を訪れているそうです。水分れフィールドミュージアムで5歳児も楽しめるニュースを発信できればと思います。

この施設の側にある高谷川は、天井川になっていて、珍しい川だということを子どもに話すと、とても興味を持ちました。水分れフィールドミュージアムがハブになって、このようなことを小学生に向けて発信できれば、将来的に面白いのではないかと思います。

(委員長) 情報発信のハブになることについては、水分れフィールドミュージアムの機能の一つだと思いますので、展示とあわせてどのように組み込んでいくのか、但馬のジオパークの事例も松原委員に紹介していただければ、勉強になると思います。

(委員) 但馬での取り組みで、コウノトリの里公園や玄武洞、城崎温泉等、自然と観光をマッチングしていることはすばらしいと思います。

(委員長) これからの水分れフィールドミュージアムについて、常設展の入り口をどのようにするか、展示する標本をどうするか、湿度管理とどうするかを考えなければいけないと思います。

また、歴史や工業の分野について、丹波市内にはベッドを製造している工場もあるので、バネの構造など科学的な要素を取り扱ってもいいと思います。

(事務局) 科学的な要素を取り扱うことについて、虫や鳥が羽ばたく仕組み等を取り扱う展示もできればと思います。

(委員長) 高等学校の理科部や、姫路市立科学館との連携もいいのではないのでしょうか。

8. その他

(1) 令和6年度第2回運営委員会

(事務局) 次回は令和7年の開催を予定しています。時期が近づきましたら、日程調整をさせていただきます。

(事務局) 令和5年度に作成したボードゲーム「TMK」を広げていますので、お帰りの際にご覧ください。

9. 閉 会 委員長